

コロナ禍での朝倉の夏の楽しみ方

朝倉で過ごす2回目の夏がきました。コロナ禍の間、この素敵な街にすることができて、とてもうれしく、感謝しています。朝倉では必要なものが近くに揃っていて、安全に買い物や生活ができるので、コロナ禍の制限が日常生活に影響を与えているとはあまり感じていません。

私は、仕事が終わってから、夕食を食べた後には甘木公園など、近くの公園を散歩します。買い物をしなければならないときは、電動自転車を使ってさまざまな店や市場を訪れているので、私は大体何時頃どこで何が安くなるかのタイミングを完全に把握するようになりました。例えば、魚であればイオンに行きますし、野菜と海藻類はトライアルに行きます。美味しいお弁当が欲しければビッグイオンに行きます。ドラッグストアモリに行くときは、必ずお気に入りの生パスタを買っています。週に1、2回はマンガ倉庫や他の中古屋さんに行って価格を比較して、お気に入りのアニメに関連する小さなアイテムを見つけるのが楽しみになっています。



休みの日は、隠れたお寺や新しい川を探検しに行っています。晴れたら日には、原鶴温泉に行ってゆったりとお風呂に入りますし、時々、三連水車や山田堰に立ち寄ります。水辺の景色をみるといつもリラックスできます。筑後川を眺めながら、鵜飼公園に立ち寄り、木々の緑を眺めます。自然を観察していると、季節が自然の色や形にどのように影響するかがよくわかります。夏の間は、川の水位が高くなり、草木がより勢いをましています。それぞれの季節ごとに、美しく風景が移り変わる中に、自然のエネルギーと時間の力を感じずにはられません。それは、バランスを崩さずに流れを保ち続けるという、日本人の個性の重要な側面のひとつでもあり、私に季節は必ずめぐり来ることを教えてくれます。